

和地ひとみレポート No.438

令和4年第2回東大和市議会定例会 一般質問① “経済状況の変化への対応について”

持続可能、魅力ある市のための的確な対応を



■変化が激しく予測が困難な時代において

…6月1日から開かれている令和4年第2回市議会定例会で、私は以下の2つのテーマについて一般質問を行いました。

■経済状況の変化への対応について

① 令和4年度の予算編成時には、現下の原油価格の高騰や円安などの影響による物価高騰は予測していなかったと思う。そこで以下の点を確認する。

ア: 光熱水費などの経費予算への影響予測と対応方法について

イ: 行政サービスへの影響の有無と対応について

② 学校給食について

ア: 現在の経済状況の学校給食に対する影響は

イ: 魅力ある学校給食、食育の充実を維持するための市の考えは

■人事行政について（※次号のレポートで報告します）

① 現状と課題について

ア: 現在の人事行政上の課題は何か

イ: 課題解決のための取組と効果について

② 採用について

ア: 新卒採用の現状と課題について

イ: 中途採用の現状と課題について

…2010年ごろからVUCA（ヴーカ）という言葉を目にするようになりました。このVUCAは軍事用語として誕生した言葉で、「Volatility（変動性）」「Uncertainty（不確実性）」「Complexity（複雑性）」「Ambiguity（あいまい性）」の頭文字を並べたもの。2016年以降、世界の経済界でも「VUCAの時代」が到来したと言われるようになりました。

…今までも高度経済成長の右肩上がりの時代から、人口減少、少子高齢化時代に変化したことへの対応が課題とされてきましたが、2010年ごろからは、様々なものを取り巻く環境において複雑性が一層増している状況です。そして、2020年には新型コロナウイルス感染症の世界的な流行、さらに、今年ロシアのウクライナ侵攻など、想定外の事象が次々と発生。また、3月からのわずか2カ月間で16円も急速にドルに対し円安となるなど、ここ近年の様々な事柄の変動の激しさにより、私たちの生活も大きく影響を受けています。

…まさしく現状は、将来の予測が困難な状態にあり、今後もこのような変化に対応しなければならない場面が多く出てくると予測されています。

…VUCAの時代においても、持続可能で魅力ある東大和市を実現するためには、急激な経済状況の変化に市の適切な対応が必要なこととともに、今後、どのような変化が起こっても、適時的確に対応できる市の職員の力が必要です。よって、今回は変化の激しい時代における市の現状と課題、そして考えを確認しました。

■経済状況の変化の影響は

…まず最初に、光熱費などの経費予算への影響予測と対応方法について市長に確認したところ「令和4年4月の本庁舎の電気料金は約195万7,000円で、前年同月と比較し、約1.7倍となっている。世界的に新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、経済活動が再開したことに加えて、ウクライナ情勢の悪化に伴い、原油価格の高騰が顕著になっていることと連動して、電気料金も同様の傾向にある。このような燃料費の高騰は、予算編成時に見込んでおらず、今後、一部の費目において予算の不足が想定されることから、その動向を注視しながら、補正予算の計上等、必要な対応を図っていく」とのことでした。

…このほかにも「庁舎のガス料金も、前年同月比1.9倍となっており、他の公共施設も同様の傾向にあるものと考えている」ことのほか、ちよこバスの補助金（＝赤字分の補てん）や都バスの負担金など、交通に関する事業についても、負担増として跳ね返ってくる可能性についても考えていることが示されました。

■当初予算をオーバーする経費の財源は

…これら、予算編成時に予測していなかった様々な物価高騰への市の対応としては、財政調整基金＝市の普通預金を充当することが考えられますが、本定例会の初日の市の答弁では「国の補正予算による臨時交付金として、当市には約2億4,000万円交付される」とのことでしたので、この臨時交付金の活用の有無について確認。その答弁は「国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分）については、主に市民や事業者の方々に対する支援に優先して活用するよう検討を進めている。よって、この交付金を公共施設の電気料金やガス料金等、市の事業の継続のために活用することは現時点では考えていない。従って、電気料金やガス料金の高騰分については、最終的に財源の見通しが立たない場合は、財政調整基金を取り崩す以外はないものと考えている。」とのことでした。

（裏面に続く）

■長期的な視点に立った場合の影響は

…東大和市は、今後、公共施設や下水道管等の老朽化対策をはじめ、多額の財源を必要とする事業が控えています。そのような中、市は“第6次行政改革大綱”の『強固で弾力的な財政基盤の確立』において様々な目標を設定。しかし、この目標についても現時点での経済状況の変化については考慮されていません。

…例えば、学校の長寿命化対策について市は、事業全体で約336億円と見積もっていますが、この見積もりの前提も変わってきています。その点についての市の考えを確認したところ「原油価格や物価の高騰が長期に及ぶ場合は、公共施設の光熱費への影響が大きくなる。また、学校施設の長寿命化に用いる建築資材についても、円安等の影響が長引くと、輸入部材を中心とした価格の上昇が予想される。仮に、価格の上振れが大きく、長期に及ぶ場合、学校施設の長寿命化については、事業費が当初見込みを大きく上回ることになれば、事業計画への影響も懸念されることだ。今回、指摘されたVUCAの時代における大切な視点の一つとしては、財政調整基金などの基金（≒貯金）により将来に備えることが挙げられる。改めて、一定の基金残高の確保の重要性を認識したところであり、今後も、機会を捉えて、公共施設等整備基金などへの積立てに努めてまいりたい」との考えが示されました。

…東大和市においては、大きな財源が必要な事業が控えている時期とVUCAの時代が重なったことは、何とも苦しいところ。しかし、これは東大和市に限ったことではありません。市長答弁では「今まで以上に世界情勢や経済動向などに注視していく」とのことでしたので、先手先手に対応するように要望しました。

■学校給食の対応は

…様々な食材の価格が高騰していることを受け、東京23区の一部の区において、給食費を値上げしていることが報道で取り上げられています。東大和市ではそのような話題を耳にしないため、現状について確認したところ「現在は、比較的、価格が安定している食材を使用した献立とするなど、工夫して対応している。今後も、食材価格の状況を確認しながら、適切に対応していく。」とのことで給食費の見直しについては言及されませんでした。

…現在の学校給食は、子ども達の成長に必要な栄養のためだけのものではありません。学校給食法第二条においては“義務教育諸学校における教育の目的を実現するために、次の目標が達成できるように努めなければならない”。こととして、以下の7点が挙げられているように“生きた教材”としての役割も担っています。

- ①適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。
- ②日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと。
- ③学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。

- ④食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- ⑤食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。
- ⑥我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。
- ⑦食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。

…実は、東大和市の1食当たりの給食費（食材費）は、都内でも下位（＝安価）。そもそもの食材費が低いなかでの物価高騰です。工夫だけでは、上記7点を実現するには限界が来ているのではないかと指摘しました。

【東大和市の1食当たりの学校給食費】

東京都教育委員会調べ令和3年度の結果より

学 年	都全体 平均	26市 平均	東大和市	都全体 安価順
小学校	低	¥247.82	¥210.07	1位
	中	¥265.49	¥226.07	2位
	高	¥282.79	¥245.07	3位
中学校	¥323.12	¥306.94	¥272.07	4位

■東大和市の“あるべき給食”は

…当市の学力向上への取組強化や学校教育の充実を要望する声はいまだに多く耳にします。そのような観点から見ても、当市の学校給食の改善は必須。現在の物価高騰への対応以前の問題だと思えます。給食費の見直しについては市の考えを確認したところ「給食費の見直しについては、コロナ禍により検討の場が持たないことから中断しており、また、今年度においては、物価高騰により給食費での運営が厳しい中、保護者の負担増とならないように、交付金の活用なども検討している状況だ。今後については、食材価格の高騰の動向のほか、これまでの給食の量や質、他市の状況等を確認しながら、望まれる給食の内容を検討することで、東大和市の給食の魅力を高め、学力向上や学校教育の充実につながるよう努めてまいりたい。」とのことでした。

…今の東大和市の学校給食は“食べさせたいもの”というより“提供できるもの”といった感さえます。食は毎日のことで重要。東大和市の学校教育の中での給食の位置づけ、また、“あるべき姿”を定義づけるべきで、それは子育て世帯に選ばれる市の要素にもなると思えます。

…VUCAの時代において、今後も物価の大きな変動は考えられます。市が使用料、手数料の見直しを3年ごとに実施しているように、あるべき学校給食の姿と物価状況を照らし合わせて、定期的に給食費の見直しもすべきではないかと提言しました。

6月22日より参議院選挙期間に入るため、次回は7月11日以後になります。



東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。
私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>
✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546
〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102